

令和2年度 学校情報

学校法人 水野学園
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪

学校法人水野学園 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪は平成31年度
および令和2年度学校情報について、以下の通り報告いたします。

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

基準1	学校の概要
基準2	各学科の教育
基準3	教職員
基準4	キャリア教育・実践的職業教育
基準5	様々な教育活動・教育環境
基準6	学生への支援
基準7	学生納付金・就学支援
基準8	学園の財務
基準9	学校評価

基準1 学校の概要	
【教育目的】	ジュエリーデザイン・制作などのジュエリー関連分野およびファッションに関連するデザイン・制作などのファッション関連分野、自転車に関連するメカニク技術などの環境デザイン・スポーツ工学分野を目指す者にその専門教育を教授し、みずからの専門職を通じて社会に貢献する人材を育成することを目的とする。
【校長名】	水野 倫理
【所在地】	大阪市西区北堀江2-14-3
【連絡先】	06-6537-4333
【沿革・歴史】	昭和41年 ヒコ・みづの宝石デザイン学校 設立 昭和54年 専修学校 認可 平成2年 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジに校名変更 平成9年 ジュエリーデザイン科（ウォッチ系） 開設 平成16年 シューメーカー科 開設 平成19年 バッグメーカー科 開設 平成20年 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪開校 大阪校にジュエリーデザイン科・ジュエリー研究科 開設 平成28年 大阪校にジュエリーデザイン科（ウォッチ系） 開設 令和2年 大阪校にスポーツ工学デザイン科開設
【教育理念】	①実践的な専門能力の修得とともに、ものづくりの喜びと奥深さを伝える ②古くから伝わる技術を学び、それを新しいかたちで表現できる人材を育成する ③社会の多様性を理解し、広い視野で物事をとらえる人材を育成する

基準2 各学科の教育	
【入学者に関する事項】 ・ 出願条件 ・ 入学者数 ・ 卒業・成績評価基準等	【出願条件】 入学時の年齢が18歳以上で、次のいずれかに該当する方 ①高等学校卒業（見込み）以上 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者または合格予定者 ③高等学校卒業と同程度の学力があると本校が認めた方 【入学定員】 103名 【令和2年4月入学者】 103名 【卒業に必要な授業時間数】 ジュエリーデザイン科（ジュエリー系）…2年制[2,200時間]、夜間3年制[1,908時間] ジュエリー研究科…3年制[3,252時間] ジュエリーデザイン科（ウォッチ系）…2年制[2,128時間] スポーツ工学デザイン科…2年制[2,040時間] 【成績評価】 提出物評価、出席率、授業態度、試験成績等で総合的に判断する。
【カリキュラム】	各学年での目標レベルに到達するために、各コースとも体系的に編成されている。カリキュラム内容については日々活発に意見が交換されており、毎年見直され、学年を超えて多角的に検討されている。
【進級・卒業の要件等】	進級、卒業に必要な授業時数の取得、出席率、授業態度、成績の状況を総合的に判断し、学校長および教職員による判定会議で決定する。
【資格・検定試験合格実績】	貴金属装身具技能検定（国家資格）・・・3級合格率84.8%、2級合格率71.4% 時計修理技能検定（国家資格）・・・3級合格率93.3%、2級合格率38.5% 水野学園 職業技能検定（各部門・技能とも3級・2級・1級がある） ・CAD設計部門 ・ジュエリー部門【デザイン技能／メタル技能／WAX技能／宝石知識】
【卒業後の進路】 平成31年度卒業生の実績	【企業等就職率…就職希望者に占める就職者の割合】 ジュエリーデザイン科（ジュエリー系）…2年制[100%]、夜間3年制100%] ジュエリーデザイン科（ウォッチ系）…2年制[100%] 【企業就職以外の進路】 海外留学、進学、オリジナルブランドの立ち上げ など

基準3 教職員	
【教職員数】	31人
【教職員の組織】	学校長、教員、事務職員、学校医
【教員の専門性】	<p>●ジュエリーデザイン科（ジュエリー系）…ジュエリーブランドオーナー、ジュエリーデザイナー、ジュエリー作家、金工作家、貴金属装身具製作1級技能士、日本ジュエリーデザイナー協会会員、元ジュエリーブランドデザイナー 等</p> <p>●ジュエリーデザイン科（ウォッチ系）…元時計ブランドウォッチメーカー、ウォッチデザイナー、時計技能士検定1級、独立時計士 等</p> <p>●スポーツ工学デザイン科…自転車専門店オーナー、プロメカニック経験者 等</p>

基準4 キャリア教育・実践的職業教育	
【キャリア教育への取り組み状況】	1年次より就職ガイダンス、進路希望調査などを段階的に実施している。教務進路課においては、ビジネスマナー講座、業界研究、履歴書添削、模擬面接、メイク講座などを実施している。卒業学年では各分野の業界人によるセミナーを聴講し、その業界で働くことを意識つけている。
【実習・実技等の取組状況】	全授業の90%以上が実習・実技で授業が行われる。主に1年次では基礎技術・技法・知識を、2年次以降では応用技術・技法等を習得する。
【就職支援等への取り組み状況】	進路相談専任職員がその任を負う。企業就職希望者に対しては、卒業前年度3月以降に就職活動のための具体的なノウハウ指導を行うと同時に、専用のWEBサイトにおいて求人公開を行っている。進学、留学に関しては、進路相談選任職員においてすべて個別相談で対応している。

基準5 様々な教育活動・教育環境	
【学校行事への取り組み状況】	<ol style="list-style-type: none"> ① 新入生オリエンテーション ② 学校長セミナー・理事長セミナー ③ 海外研修旅行（希望者） ④ 外部講師によるワークショップ（外国人講師含む） ⑤ 学生作品展示会・販売会 ⑥ 学園祭 ⑦ 企業インターンシップ ⑧ 学外研修 ⑨ 防災訓練 ⑩ 学内安全週間 ⑪ 卒業制作展 ⑫ 卒業式・謝恩会

基準6 学生への支援	
【学生支援の取組状況】	<ol style="list-style-type: none"> ① クラス担任制および専用窓口を設け、学生が話やすい環境を整えている。 ② 公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ③ 学校提携の心理カウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。

基準7 学生納付金・就学支援	
【学生納付金の取り扱い】	入学時学納金は、年間一括と前後期分納で選択できる。 別途申請により、年10回分割にも応じている。
【活用できる経済的支援措置】	●公的奨学金 日本学生支援機構奨学金／日本学生支援機構学習奨励費 ●水野学園奨学金制度 3年次学費減免制度／新入生奨学金制度／再進学奨励制度／教育ローン補助制度／ 親族奨学金制度／留学生奨学金制度

基準8 学園の財務	
【学園財務の状況等】	顧問税理士の指導をうけながら適正な会計処理を行い、監事2名による会計監査においても問題はない。 前年度財務諸表（水野学園全体）は下記の通り。

1. 貸借対照表 令和2年3月31日現在			
		(単位:円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【固定資産】	7,469,102,727	【固定負債】	106,680,000
(有形固定資産)	6,893,156,902	長期借入金	106,680,000
土地	3,875,016,576		
建物	2,384,859,465	【流動負債】	1,378,258,753
その他	633,280,861	短期借入金	34,994,000
(その他の固定資産)	575,945,825	未払金	56,627,115
長期貸付金	33,929,982	前受金	977,223,736
ソフトウェア	4,602,516	その他	309,413,902
その他	537,413,327		
		負債の部合計	1,484,938,753
【流動資産】	1,581,623,587	純資産の部	
現金預金	1,561,175,193	科目	金額
未収入金	3,868,183	【基本金】	9,797,475,059
その他	16,580,211	第1号基本金	9,621,475,059
		第4号基本金	176,000,000
		【繰越収支差額】	△ 2,231,687,498
		翌年度繰越収支差額	△ 2,231,687,498
		純資産の部の合計	7,565,787,561
資産の部合計	9,050,726,314	負債の部及び 純資産の部合計	9,050,726,314

2. 事業活動収支計算書 平成31年4月1日～令和2年3月31日

			(単位:円)
教育活動収支	事業活動収入の部	科目	金額
		学生生徒等納付金	1,826,478,241
		手数料	7,828,700
		経常費等補助金	10,206,494
		付随事業収入	85,214,141
		雑収入	35,508,667
		教育活動収入計	1,965,236,243
	事業活動支出の部	人件費	948,694,910
		教育研究経費	371,626,711
		管理経費	385,761,262
		教育活動支出計	1,706,082,883
	教育活動収支差額		259,153,360
教育活動外収支	収入業の活動部	科目	金額
		受取利息・配当金	522,406
		教育活動外収入計	522,406
	支事業の活動部	借入金等利息	710,242
		教育活動外支出計	710,242
	教育活動外収支差額		△ 187,836
経常収支差額		258,965,524	
特別収支	収入業の活動部	科目	金額
		資産売却差額	0
		特別収入計	0
	支事業の活動部	資産処分差額	919,417
		特別支出計	919,417
特別収支差額		△ 919,417	
基本金組入前当年度収支差額		258,046,107	
基本金組入額合計		△ 203,222,374	
当年度収支差額		54,823,733	
前年度繰越収支差額		△ 2,286,511,231	
翌年度繰越収支差額		△ 2,231,687,498	
事業活動収入計		1,965,758,649	
事業活動支出計		1,707,712,542	

基準9 学校評価	
【自己評価・学校関係者評価の結果】	毎年、自己点検・自己評価を実施している。 学校関係者評価委員会を実施し、評価結果を公表している。
【評価結果を踏まえた改善方策】	学校関係者評価委員会の結果を踏まえ、改善すべき点の改善・検討を行っている。 カリキュラムについては、教育課程編成委員会による提案も改善案として検討している。

以上